

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【公開番号】特開 2018-15445 (P2018-15445A)

【公開日】平成 30 年 2 月 1 日 (2018.2.1)

【年通号数】公開・登録公報 2018-004

【出願番号】特願 2016-150428 (P2016-150428)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行可能であり、

抽選手段と、

複数の演出モードのうちから一の演出モードを選択し、抽選手段の決定に基づいて当該一の演出モードに対応する遊技演出を表示手段に表示する演出制御手段と、

演出制御手段によって行われる遊技演出に対応する演出音を出力するスピーカと、

遊技者が操作入力を行うことが可能な操作入力手段と、

操作入力手段に対して行われる操作に基づいてスピーカから出力される演出音の音量レベルの設定変更を行う音量調整手段と、

音量調整手段により演出音の音量レベルの設定変更が行われる際に、表示手段に現在の音量レベルを表示させる音量表示手段と

を備え、

現在の演出モードに対応する背景画像を表示手段に表示可能に構成されており、

操作入力手段に対して行われる操作に基づいてスピーカから出力される演出音の出力レベルを変化させ得るよう構成されており、

操作入力手段に対する操作に基づいて音量レベルの設定変更が行われるのに応じて、表示手段に表示されている現在の音量レベルの表示を変化可能であり、操作入力手段に対する操作に基づいて音量レベルの設定変更が行われるのに応じて、所定の確認音を出力可能であり、

所定のエラーを検出した場合、前記所定のエラーに対応するエラー音をスピーカから出力可能であり、

音量レベルが第 1 のレベルに設定されている状況にて前記所定のエラーを検出した場合の前記所定のエラーに対応するエラー音と、音量レベルが第 2 のレベルに設定されている状況にて前記所定のエラーを検出した場合の前記所定のエラーに対応するエラー音とは、出力レベルが同一である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行可能であり、

抽選手段と、

複数の演出モードのうちから一の演出モードを選択し、抽選手段の決定に基づいて当該一の演出モードに対応する遊技演出を表示手段に表示する演出制御手段と、

演出制御手段によって行われる遊技演出に対応する演出音を出力するスピーカと、

遊技者が操作入力を行うことが可能な操作入力手段と、

操作入力手段に対して行われる操作に基づいてスピーカから出力される演出音の音量レベルの設定変更を行う音量調整手段と、

音量調整手段により演出音の音量レベルの設定変更が行われる際に、表示手段に現在の音量レベルを表示させる音量表示手段と

を備え、

現在の演出モードに対応する背景画像を表示手段に表示可能に構成されており、

操作入力手段に対して行われる操作に基づいてスピーカから出力される演出音の出力レベルを変化させ得よう構成されており、

操作入力手段に対する操作に基づいて音量レベルの設定変更が行われるのに応じて、表示手段に表示されている現在の音量レベルの表示を変化可能であり、操作入力手段に対する操作に基づいて音量レベルの設定変更が行われるのに応じて、所定の確認音を出力可能であり、

所定のエラーを検出した場合、前記所定のエラーに対応するエラー音をスピーカから出力可能であり、

音量レベルが第1のレベルに設定されている状況にて前記所定のエラーを検出した場合の前記所定のエラーに対応するエラー音と、音量レベルが第2のレベルに設定されている状況にて前記所定のエラーを検出した場合の前記所定のエラーに対応するエラー音とは、出力レベルが同一である

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

操作可能な一又は複数の操作部材（例えば、電源スイッチE a、十字キーS B 2）と

、

サウンドを出力可能なサウンド出力部（例えば、スピーカD 2 4）と、

演出を表示可能な演出表示部（例えば、演出表示装置S G）と、

変位可能な可変部材（例えば、可動体役物Y K）と

を備え、所定の操作部材は遊技者が操作不可能に構成されており、

演出表示部（例えば、演出表示装置S G）へ演出を表示する際の表示態様として複数種類の表示態様を有し、

可変部材が駆動する際の動作態様として複数種類の動作態様を有し、

サウンド出力部（例えば、スピーカD 2 4）へサウンドを出力する際の出力態様として複数種類の出力態様を有し、或る種類の出力態様と当該或る種類とは異なる種類の出力態様とでは、サウンドの構成要素が異なるよう構成されており、

前記出力態様の選択候補グループとして、サウンドグループAと、サウンドグループAとは前記出力態様の選択候補が少なくとも一以上相違しているサウンドグループBと、を少なくとも有しており、

セットされている選択候補グループから前記出力態様を選択するよう構成されており、前記所定の操作部材の操作状態に基づいて、セットされている前記選択候補グループを切換可能に構成されており、

特定の期間においては、サウンドグループ A がセットされている場合と、サウンドグループ B がセットされている場合とで、前記出力態様が相違するよう構成されており、

前記特定の期間においては、サウンドグループ A がセットされている場合と、サウンドグループ B がセットされている場合とで、前記表示態様及び / 又は前記動作態様が相違するよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。